



紙ブーメランの作り方



紙ブーメラン

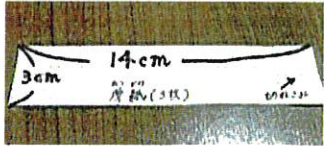
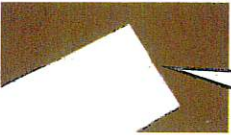
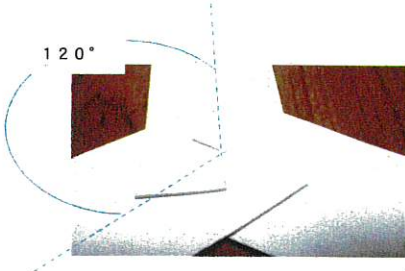
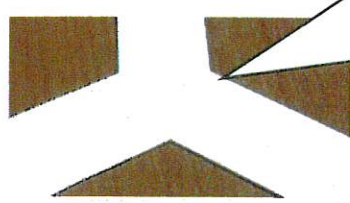
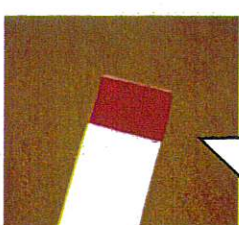
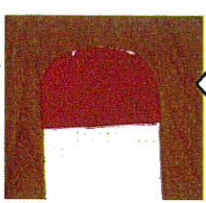

北毛青少年自然の家



1, 準備する物

画用紙(配布されたもの。牛乳パックでもできるが軽いので飛び方が柔らかい)、ハサミ、ホッチキス、ビニールテープ、定規、分度器、油性マジックペン等

2, ブーメランづくり

ブーメランづくりの手順		注意事項
<p>(1) パーツ作り</p> <p>まず、紙ブーメランのパーツ作り。写真のように、画用紙からブーメランのパーツを三つ切り出します(配布した物をそのままお使いください)。</p>  <p>縦3センチ、横14センチのパーツを<u>3つ</u>切り出しましょう。</p>  <p>中央に1センチの切り込みを入れましょう。</p>	<p>○はさみ等使うので、周囲に気をつけて活動しましょう。</p>	
<p>(2) パーツ組み立て・ホッチキス止め</p>  <p>切り込み部分を合わせ、<u>奥までしっかり入れる</u>。分度器で、パーツとパーツの角度が<u>120°</u>になるように計る。</p>  <p>3カ所をホッチキスでとめる。<u>それぞれの針が3つのパーツにしっかりとかかるようにとめること</u>。*写真のようにホッチキスの針の上側を常にブーメランの上とする。投げる時はこの上側を自分の耳の方に向けて縦に投げる。</p>	<p>○切れ込み部分を合わせて押し込む時きつくて入れづらいが、しっかり合わせる。ここが雑だとバランスが崩れてしまう。強引に入れて画用紙がよれるのも×。</p>	
<p>(3) 先端の仕上げ・色づけ</p>  <p>好きな色のビニールテープで先端に二周ほど巻く。</p>  <p>はさみで角を取り、丸くする。綺麗に仕上げたいときは鉛筆で下書きさせてもよい。</p>  <p>油性マジックペン等で好きに色づけする。</p>	<p>○テープを巻かなくても遊べます。</p> <p>○テープで先端を重くすると遠くまで飛ぶようになる →【手順(6)参照】。</p>	

(4)チューニング～安全に自分の所へ戻るブーメランに～

①手前にひねる(右投げ用) ←左利きは逆にひねること。



上向きにした状態で羽根3カ所とも、ゆっくりと手前にひねり(右投げ用)、クセをつける。

○(4)からは飛ばしながら調整するので、広い所に移ってやる。風がなければ外でもOK。

②羽根を反らす



上向きにした状態で羽根3カ所とも、ゆっくりと反らしてクセをつける。

○チューニングは慎重に。しわが付きすぎたり、折れたりすると飛ばなくなる。

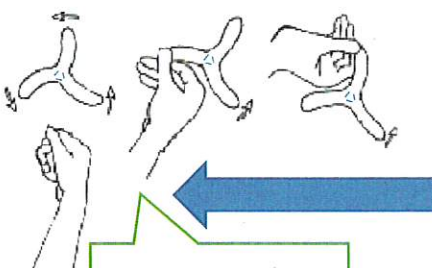
③ためし投げ・調整・完成

3カ所のひねりと反らしができたら試し投げをする。よく飛ばない時は、もう一度3カ所をバランスよくひねり、反らす(ひねりすぎ、反らしすぎに注意)。ふわふわ・ひらひらと舞い降りてくるので、両手で受け止める感じでキャッチする。

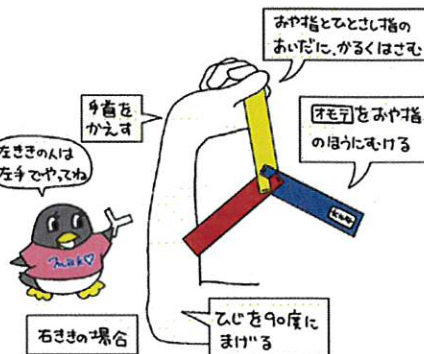
○始めは鋭い戻り方に慣れず貴顕なので大げさに反らすとよい。

ブーメランを投げるコツ

- ★軽くつまみ縦(たて)に投げる
- ★手首(スナップ)をきかせ、力まず柔らかく鋭く投げる
- ★全身(足・腰・ひじ)を使う



ブーメランの上(ホッチキスの上)を耳側に向けて投げる



*北毛青少年自然の家

Twitter(4月11日・4月1日、3月8日発信等)に動画あり。

(5)カスタマイズI～アーチ状に曲げ、よりかっよく飛ばそう～

(4)からさらに、それぞれの羽根をアーチ上に曲げると、ふわふわ返ってきていたブーメランが、速く鋭く返ってくる。アーチ状にする時は、少しずつ丁寧に曲げる。投げては調整を繰り返し、自分のところへ返ってくるようにする。キャッチは両手で優しくはさむようにするとよい。片手キャッチにも挑戦!



○さらに、(4)で付けた「反り」を少しずつ元に戻していくと、飛び方が鋭くなる。

(6)カスタマイズII～先端を重くして、より遠くへ飛ばそう～

先端を重くするとより遠くまで飛ぶようになる。まずは、先端のビニールテープをさらに一巻きずつ増やしてみる。投げながら飛び方を観察してみる。



○先端を重くすると遠くまで飛ぶようになる。

☆必ずうちの人と相談して取り組みましょう。けがのないように周囲の状況を考えてやりましょう。